

令和5年度 第2回 高台中学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和5年10月17日（火） 15時30分から16時45分まで
- 2 開催場所 高台中学校 第2会議室
- 3 出席委員 齋藤 健二、鈴木 章弘、渡邊 貴子、山崎 えみ子、里中 恵介、
河井 亮子、鈴木 真一、
- 4 欠席委員 なし
- 5 学 校 犬塚 智春（校長）、松原 通恭（教頭）、太田 亮平（教諭、生徒指導）、
川嶋 弘美（教諭、CS担当）、高林 厚志（教務、CS担当）、
和久田 鈴香（CSディレクター）
- 6 教育委員会 鈴木 陽子（教育総務課）
- 7 傍聴者 なし
- 8 会議録作成者 和久田 鈴香（CSディレクター）
- 9 議長の選出
司会（川嶋）から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、鈴木(真)委員から会長を
推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。
- 10 協議事項
（1）高台中生徒の現状、学校全体としての課題
（2）『特色ある高台中CS』についての委員としての意見
（3）その他
- 11 会議記録
司会(川嶋)から、委員総数7人全員の出席があり開催要件が満たされ会が成立する旨の報告が
あった。

（1）高台中生徒の現状、学校全体としての課題
議長の指示により、教務主任から別紙資料に基づきアンケート結果、学校教育目標に基づいた
指導の成果と課題について報告があった。続けて、生徒指導主事から現在把握しているいじめ
と不登校の現状とその対応についての報告があり、校長からこの件について補足があった。

(2)『特色ある高台中CS』についての委員としての意見

議長の指示により、地域内での高台中生の様子について意見を求め、委員からは以下の発言があった。

- ・あいさつ運動や地域内で道すがら高台中生に会うと、生徒側から大変気持ちの良い挨拶をしてくれる。(山崎委員)
- ・来校時、率先して挨拶してくれて素晴らしいと思った。いじめの件は難しいが真摯に寄り添って話を聞いてあげることが大事。(里中委員)
- ・朝8時過ぎに高台中生がゴミ捨てをしていた。家の手伝いをするのは立派だが、遅い時間であったため学校に間に合うのか、また同時に家庭の状況も心配になった。(渡邊委員)
⇒集団の時間は避け、敢えて時間をずらして登校する生徒など、様々な事情を持った色々な子どもがいる。配慮した声掛けをしていただければと思う。(校長)
- ・夏祭りの時、高台中生と思われる子どもたちが私服で参加。祭りの参加にあたって学校から何か指導はあるのか。(鈴木(真)委員)
⇒祭りの参加について特別な指導はしていない。普段の生活から「大人になるための学校」であることを意識した指導を先生方にはお願いしている。各自子どもたちが判断して参加している。(生徒指導主事)

議長の指示により、教育委員会から浜松市内の他の小中学校でのCSの取り組みについて報告があった。それを受け、高台中生が大人になるために、今、CSとしてどのような支援ができるのか意見を求め、委員からは以下の発言があった。

- ・菟丘小では「菟っ子サポータークラブ」という実働部隊があり、必要な支援に合わせて、その都度、保護者からボランティアを募集している。外部講師を招くこともある。(渡邊委員)
- ・追分小では「スクールガードボランティア」が登下校の見守りをしている。腕章をつけて活動しているが、子どもたちには安心感を与え、犯罪の抑止力にも繋がっていると感じる(河井委員)
- ・いじめに対するフォローはどうか。(鈴木(真)委員)
- ・不登校の生徒が職業体験などの校外学習や、芙蓉祭などの学校行事には参加できたりすると聞く。校外での教育活動を増やしたらどうか。(山崎委員)
⇒職業体験についてはコロナ禍により校外での活動から講師を招いて行うように変わっており、本年度も講師を招く予定となっている。不登校の生徒についても個別サポートを行っている。(校長)
⇒教室に入れない生徒のために「まなびの教室」という中間的な教室を設置しており、養蜂場へ行って活動するなど独自の教育活動もしている。(生徒指導主事)
- ・子どもは地域が作る(育成する)という考えで、地域でいろんな経験をさせていきたい。(鈴木副会長)
- ・良い行動を見かけたら書いたり貼ったりして(無記名可)、紹介できるような掲示板を設置したらどうか。(里中委員)

12 連絡事項

- ・司会(川嶋)から、次回の協議会についても議長に会長を推挙したい旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。
- ・今後の予定 第3回 2月 2日(金) 15時30分から16時30分まで